

## 1. 自己採点

60点

## 2. 感想

教員採用試験の問題を何回かやりましたが、  
のびることも自覚しました。4年生になったら教育実習に  
行くので、取らなければならない。春休みから  
勉強しようと思います。

1. 自己採点

43点

---

2. 感想

自分のできなかったところを改めてやり直した。

勉強の必要性を強く感じた。

数学科教育法の講義にとてもため

なる授業でした。

ありがとうございました。

1

60/100

2、 難しい問題だと思いきし  
たがやはり全体を通じては不足  
でこのままではいけないと感じました。

1. 自己採点, 40点,

## 2. 感想

分からない問題でもその分野の公式や定義を連想して問題が解けるように分れたらよいなと感じた。

いろいろ目標が出てきたのでこれから頑張っていくたい。

50点

2

④は全く手が出なかった。

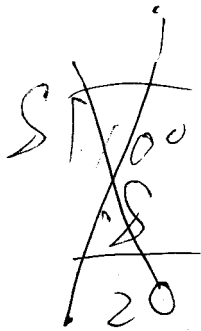
任意なので、どちらかを"0"にする考えが  
頭で覚えた。

早めた問題集を一通り解く必要が  
あると思った。

解けた問題でも、いろんな分野から視点を広げて、  
なぜか考えなければならぬ。

1. 30点

2. 自分の知らない数学に対する考え方を学べたので  
とても充実した授業でした。



1. 自己採点  
40点

## 2. 感想

問題は全然解けず、  
解答を見れば、与えられた条件を  
問題に(1)の条件、(2)の条件、  
与え、 $x, y$ .

## 自己採点

11 12 (1) (2) 13 14 (1)

とりあえず最初に正田先生がきた西己点で。

60点

## 感想

やはり自的せいベクトルの苦手意識がありました。が、やはり苦手みたいでした。また問題を作ってまた新たな課題がみつかりました。



1. 60点。

2. ... 得点基準があるから、問題の難易度が様々だから、  
問題の解きやすさが違いバラバラだった。

つまり、これには調整は出来なかった。  
問題は主に数式でいいし。

特に、図形問題が弱くは確認できるの。

これからの参考にします。

ありがとうございます。

# 1. 自己採点

㉑ 15

㉒ 10

㉓ 15

㉔ 10

↳ 50

→

# 2. 感想

公式さえ覚えておけば解ける問題ばかり  
ないのも、たいてい。

また、大抵解ける方が「なるほど、イメージが  
きつたりするけれど、解けない」と思った。

しかし、その「解けない」というのは、  
「解けるけれど、解けない」。

1, 60点

2, 団が、ほとんど手がつかなくて勉強不足を  
痛感しました。春休みに勉強しようと  
決意しました。

# 1. 自己採点

60

# 2. 感想

数学は、反復も大事だけれども、連想して、導き出す  
ことも大事だ、と思った。や、たこな問題というわけ  
は特に連想をして導き出さなければいけないと思った。

1.

60点

2. 高校から聞かれて、答えを自信が  
なくなりました。

しかし、教師になるならこれくらい

解ける先生を求めるなら、当然だとも思いました。

やはり、先生が解けないのは

耻だし、学校にいらないなとも思いました。

1. 50点...

2 まだまだ全然力が足りませんでした。  
より多くのことを直想のために、解くための知識でない  
知識を見つけていけないし、より多くの問題を解けないと  
いけないと思いました。

1.

~~45/100~~

2.

難しかった。

④は高校で見たこともない問題で  
おもしろかった。

1. 自己採点 : 50点

2. 感想 : 問題と覚えろ、とはなく、

解き方と連想するというのが

印象に残りました。教育

実習に向けるより努力が

必要とあると強く感じました。

後期の4ヶ月間ありがとうございました。

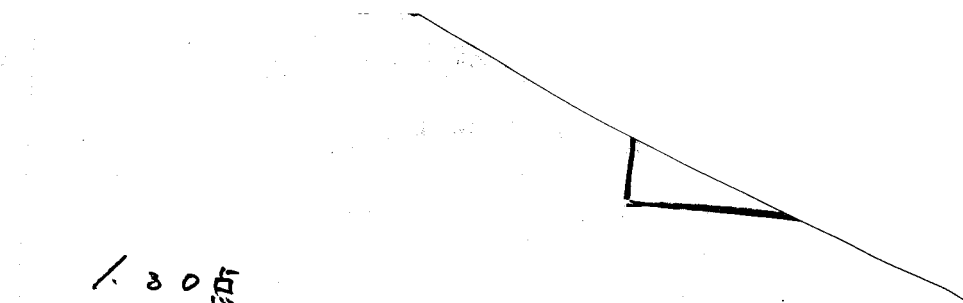
いりました。



1. 60点

2. 難しかった。だけど、④はおもしろいと思った。

知らない・解いたことのない問題は無くするのは一番だとは思いますが、それは無理だと思うので、与えられた問題から似たものに気がつくことができる努力も必要になってくるのだなと思った。



1. 30点

2. 今の時点では教師になるには  
まだまだであるが、約2年後には力付  
けてがんばります。

# 1. 自己採点

45点

## 2. 感想

使う機会、少ない公式もことごとく

忘れていて、不味いと思った。

高校で一度は勉強してきたものでも、  
頭の中で連想できなかった。全(解)近  
付(こと)できなかった。春休みの内に

自分が数学も勉強し直そうという意志  
が固まった。

1. 50点

2. 関数の問題にまったく手がつかないのが悔しかった。正田先生の言う通り、この手の問題は解けなければ、~~生徒~~生徒に申しあげない。教育実習前にはやれはいいという甘い考えは捨て、一から取り組んでいく。

1. 45点

2. もっとカンバラなまやいけない。  
問題を解いていてこの位はできなまや  
いけないのだということを感じた。

1 40点

2、いろんな公式を忘れていた。  
これが苦手分野を克服する努力し、基礎から  
かためたいと思いました。

1. 40点...

2. このポイントで先生が伝えたいのは、  
とてもよくわかりました。  
春休み頑張りたいと思います。

1. 50点

2. 実習先の教師や生徒を  
がっかりさせないためにも  
何とかしれみせます。

半年間 お世話になりました。